



新しいキャリア教育へ

# CASE STUDY **2020**

令和2年度未来の産業人材育成事業 事例集

観光リゾート産業

情報通信産業

建設産業

医療産業

福祉産業

文化産業

物流・流通産業

## 未来の産業人材育成事業とは？

沖縄県では雇用情勢を全国並みに改善するため、沖縄県産業・雇用拡大県民運動を展開し、県民が働きがいのある仕事に就けるよう、多様な雇用の場の創出や様々な就業支援に取り組んできました。その結果雇用情勢は大きく改善しておりますが、観光リゾート産業や情報通信産業等の本県の優位性を生かせる分野等においては、雇用のミスマッチや人材不足が課題となっております。

そこで、未来の産業人材育成事業では、沖縄の産業界の未来を担う子ども達に、県内の主たる産業の業界理解を促し、早期からの興味関心を育て、雇用に課題を抱える産業分野等に人材の輩出を図ることを目的として、職業人講話を実施しています。

## 目次

実施概要	03	産業別事例集	
業界の魅力を伝える キャリア教育の取り組み方	04	観光リゾート産業	06
リモートによる職業人講話	05	情報通信産業	08
就業意識の向上	05	建設産業	10
		医療産業	12
		福祉産業	14
		文化産業	16
		物流・流通産業	18

## 事業概要

今年度、7つの産業について業界団体等と連携して、児童生徒に対して産業理解を深める取組を行いました。

### ■実施概要

	校数	延べ回数	延べ受講者数
小学校	21	50	2,334人
中学校	14	60	3,574人
総数	35	110	5,908人

### ■産業別実施概要

産業分野	観光 リゾート	情報 通信	建設	医療	福祉	文化	物流 流通	合計
実施回数	24	23	10	18	12	18	5	110
受講者数(延べ)	1,220	1,371	491	957	631	946	292	5,908

### ■地域・市町村別実施概要

地域	本島									離島	
	那覇市	浦添市	北部			中部	南部			竹富町	与那国町
国頭村			大宜味村	金武町	読谷村	南風原町	糸満市	八重瀬町			
実施校数	10	4	2	1	1	3	1	7	2	1	3
地域別	10	4	4			3	10			4	



# 業界の魅力を伝える キャリア教育の取り組み方

ツールを活用して、講話をよりイキイキと！

業界全体を  
見渡すお仕事  
イメージ図

現在の一般的な  
お仕事イメージ

子どもたちが  
就職する未来の  
お仕事イメージ

業界全体に  
ついでの解説

勉強とお仕事の  
関係を解説

**ツールダウンロード**  
上記ツールは、こちらからダウンロードをご利用いただけます。

## 成果の出るプログラム

未来の産業人材育成事業の目的を整理すると

- ① 業界の理解
- ② 仕事の内容とやりがいの理解
- ③ 興味関心の芽生えを図る

の、3点を目指すことにあります。

事前学習で、業界全体を把握できるよう「業界解説シート」を活用することにより、講師は「仕事の内容とやりがい」そして、自分の人生について、子どもたちにいきいきと伝える話し方に集中することができます。

## 業界解説シートとは

業界解説シートとは

「産業の業界理解」を促進するためのシートです。本事業の対象である、観光リゾート、情報通信、建設、医療、福祉、物流・流通、文化の7業界について制作しました。

### 業界解説シートの構成

- シート左半分  
業界全体についての解説を、イラストを用いて表現しました。濃緑が業界、薄緑は業界の外ではあるものの関係の深い仕事です。
- シート右半分  
上半分：業界の現状や課題、将来はどのようかわかっていくのか、子ども達とその業界で働くイメージがしやすいように書かれています。  
下半分：学校での勉強と仕事の関係を書いています。

### 業界解説シートの活用

業界解説シートは、事前学習で活用します。配布、読み合わせをすることで、これまで子どもたちが掛けなかった業界全体をイメージすることができるようになります。また、多数の産業の職業人講話を行う場合、廊下に張り出して、比較検討できるようするのも良いかも知れません。県から各校に配布しているDVD「グッジョブお仕事探検隊」と併用すると、より産業についての理解が深まります。



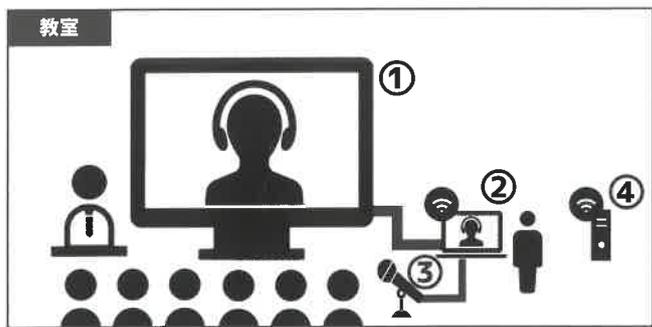
掲示例：壁に比較できるように掲示されています。



配布例：生徒個別に事前配布されています。

# リモートによる職業人講話

子どもは柔軟に受け入れ。実施に向けてのさまざまな工夫。



## リモートの概要

今年度の本事業において、複数の学校でリモートでの授業を行いました。講師が外部で話す内容を、インターネットでビデオ映像でつなぐものです。映像通信のプラットフォームは「ZOOM」(ネット会議サービス)を用い、4Gの携帯電波を受信するWifiルータでつなぎました。

## 講師の工夫

講師や教員の心配を他所に、子どもたちの反応は上々。ネット・コミュニケーションに慣れているせいか、リモートでも特に問題はありませんでした。

講師側でも、さまざまに試行錯誤しながら、モニター越しに上手く伝える方法を模索しました。特に、授業中のミュート、質疑応答では生徒に教室の前方にあるマイクまで来てもらうなどの工夫をしました。

## 機器構成

### ①メインのモニター、もしくはプロジェクタ

教室に設置されているものを使用しました。問題なく使用できました。スピーカーもHDMI経由で①のものを使用しました。

### ② PC

受託業者のものを持ち込みHDMIで①と接続した。

### ③マイク

受託業者持参のものを使用し②に接続した。生徒が質問するときは、マイクの前まで来てもらった。

### ④ Wifi ルータ

受託業者持参のものを使用しました。学校の回線を使用したケースはほとんどなかった。3クラス以上の接続がある場合にはルータを2台用意した。

### ⑤講師側

今回、講師側の環境は全て講師自身のものを使用しました。リモート授業では、講師もまだ十分に経験を積んでいないため、講師自身が使い慣れた環境がよい。

## スタッフ配置

### 現場スタッフ

各教室での機器設置は、②のスタッフがほぼ一人で行った。この際、①②の設置・接続、②のWifi接続、③のマイク接続、①のスピーカー調整を行った。当初は、更に、講師のZOOMログインの確認や、授業開始の合図を講師に送るなども行っていた。始業前10分間でこれらを行う必要があった。

### 遠隔バックアップスタッフ

現場スタッフの業務を緩和し、円滑に授業を行うために、現場スタッフとは別にバックアップスタッフを置き、講師のZOOMログインの確認や、授業開始の合図を講師に送るなどを行った。

# 就業意識の向上

## アンケートの集計に現れるイメージの向上。

授業後のアンケートによって、全ての産業でイメージの向上が図られ、講話が子どもたちの職業感、就業し行きに大きな影響を与えたことが伺えます。

### 仕事・はたらくことのイメージ

「仕事・働くことについてどんなイメージをもっていましたか?」という設問に対して、「良い」「やや良い」を加えた好評価が、授業前70.7%、後93.3%と向上しました。

「知る」ことだけで、子どもたちのイメージが大きく変わることがわかります。

### 大人になって働きたいと思ったか

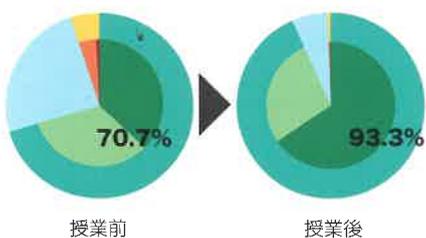
「授業を受けて、大人になったら働きたいとおもいましたか?」という設問には、「そう思う」66.6%、「ややそう思う」20.1%、合わせて86.7%が、就業意識の向上を回答しています。

### 授業でわかったこと

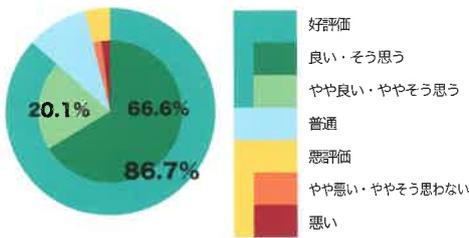
「今日の授業であなたがわかったことは何ですか?」という設問に対し、下記の選択肢を用意しました。

特に「やりがいや魅力」(2076回答)、「たくさん仕事や職種があること」(1068回答)の2つの回答が多く寄せられました。

### 仕事・はたらくことのイメージ



### 授業を受けて、大人になって働きたいと思ったか



### 授業でわかったこと





# 観光リゾート産業

Tourism

ホテル / 観光協会 / 観光施設 / 航空 / ダイビング / リゾートウェディング

## 新型コロナウイルスを克服する観光業界。 10年後には、世界有数の観光地に。

子どものうちに、さまざまな体験をすることが未来の仕事につながる。

令和2年度は観光業界にとって厳しい年でした。新型コロナウイルス感染症の影響がもっとも大きかった業界のひとつでした。それだけに、子ども達の関心は高く、現在どうなっているのか、これからどのように立ち直っていくのかについて、多くの質問が出ました。

講師陣は「コロナ禍が終われば、沖縄の観光産業は復活する」ということで一致、子ども達が就職するであろう10年後の未来は、多くの外国人が訪れる世界有数のリゾート地になっていることを、全ての講師が確信をもって語りました。

講話の内容は主に、1) 沖縄の経済を支える主要産業であること、2) 沖縄の自然や文化の素晴らしさを伝えるやりがいのある仕事であること、3) 礼儀やマナーの重要性、4) 幅広い

経験が観光業に活かされること、などでした。

観光産業に必要な能力としては、コミュニケーション能力・語学力（言語も文化も異なる外国人観光客を理解し、満足させる）や、企画力・行動力（地域の観光資源を開発・発掘し、魅力的に伝える）が重要で、これらの能力を高めるために、これからの人生でさまざまな体験をしてほしいと、講師陣はアドバイスしました。

また、パイロットの資料が全て英語であることに驚いたり、講師の携わった観光CMやテレビ番組に有名タレントが登場するなど、子ども達にとって学校の中では得られない話を聞くことができました。

### 業界解説

## 観光リゾート産業を知ろう!

### 業界解説シート

観光リゾート産業に近いシゴト

観光PR

航空・船舶

自然体験

ダイビング

ホテル

レンタカー

飲食

おみやげ店

観光リゾート産業

旅行会社

観光協会

市町村

観光リゾート産業は、沖縄を支える主要産業のひとつ。年間観光客約1000万人。外国人も多い。観光客は、飛行機や船で沖縄にも、レンタカーやバス、モノレールで移動、ホテルに宿泊します。飲食店の中には、観光客を対象にしたお店もたくさんあります。

観光客は、水族館、世界遺産などを観光し、商店街などで買い物します。ダイビングや自然の風景を楽しみます。旅行会社は、全てをまとめて計画、販売。観光協会は、地域の観光関係全体の売上向上のための取り組みを行っています。

### いまのシゴト

- 観光客1000万人。沖縄の主要産業のひとつ。
- 空港が拡張され、2000万人を目指す。
- 海外からの観光客も多い。
- コロナの影響がもっとも大きい業界。
- 観光客が多すぎて、生活に困る地域も。

### 未来のシゴト

- コロナを乗り越え、新しい業界に。
- 世界的な観光人口の増加は続く。
- 沖縄観光客の半数が外国人に。アフリカからも!
- 自動運転、受付ロボット化、自動翻訳の活用

### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろな関係しています。

国語	算数・数学	理科	社会	英語
企画書や地域の紹介文、議事録など書くことが多い。	経理や、企画書に合わせた予算案の作成など。	地域の自然環境、動植物を保護しながらの観光化。	世界遺産や地域の歴史の魅力を観光客に伝える。	外国人観光客とのコミュニケーション。
美術・音楽	体育	コンピュータ	コミュニケーション	
チラシやホームページのデザイン。音楽でおもてなし。	マリンスポーツや釣りなどの観光。スポーツ合宿の受け入れなど。	ほとんどのシゴトでコンピュータを使います。	観光客のおもてなしから、一緒に働く仲間とのチームワークづくり。	

## 実施事例

# 「ハイサイ！」挨拶とマナーが大事。 沖縄は、多くの仕事に関係する観光立県。

**上原 尚彦** 氏 南西観光ホテル 副支配人 / 沖縄県ホテル業組合  
那覇市立那覇中学校

「ハイサーイ！」の挨拶で、上原氏の講話がスタート。

「観光とは何か」を解説しながら、観光業の魅力を紹介しました。多くのお客様ひとりひとりの満足を目指す、やりがいのある仕事であることを説明、講師自身コミュニケーションが好きでこの業界に入りました。

観光産業は、ホテルをはじめ、観光施設、飲食店、土産店、旅行会社、ダイビング、各種交通機関など、多くの産業が関連して成り立っています。沖縄は観光立県として、非常に多くの産業に支えられているのだと説明しました。

ホテルのフロントやレストランの1日の流れを紹介、マナーの大切さを説明、接客7大用語の実践をしました。子どもたちと観光業界の挨拶



挨拶をする上原さん。はじめは恥ずかしそうにしていた子どもたちも、やがて大きな声が出せるようになりました。

自分自身もさまざまな経験を経て、いまの仕事に就きました。やりたいことを考え、変わってもいいので膨らませてほしいとメッセージを送りました。



## 子どもたちのこえ。

ホテルはお客様を満足させるためにたくさんの工夫をしていることが分かった。 / 観光業は一つ一つお客さんのために頑張っているかっこいい仕事 / 一つ一つ細かい仕事でもとても丁寧にしているんだなと知って、とてもいい仕事だなと思った / 自分の知らないところで働いている人がたくさんいるんだなということがわかった / いろんな仕事が観光業に関わっている (那覇小)

もっと観光もしてみたくなっし、そういう関係仕事も面白そう。 / 人を笑顔にするだけでなく、沖縄を支えているということも知った。(中川小) / 観光業はあまり知らなかったけど、地域のためにやっているイメージになった / 人を笑顔にするだけでなく、沖縄を支えているということ (首里中) / 自分で観光地とかをつくれる面白い仕事だと思いました / 観光業は楽しい仕事だと分かりました。色々な場所がわかるし、たくさんの人と触れ合えるからです (西崎中)

コロナで世の中の状況が悪化していて厳しい状況で大変だと思っていたけれど、それだけじゃなくピンチをチャンスに変えて新しい取り組みや対策も行って少しづつ客がきていているんなやりがいとかも聞いて良いイメージです。(大宜味中) / いいイメージにかわって絶対に(パイロットに)なると決めた。 / 与那国でゆめをもつ劣等感を乗り越え、パイロットのゆめをつかめそうところまでいける道具を使ってせつめいしているところがよかった (久部良小) / 観光業がないとその地域の経済がうるおわなくなるので観光業は重要 (小塚南小) / 前は「お金を貯めるために働く」だったけど今は「好きなことをしてお金をもらえるなら一石二鳥」という考え方もあると思った。(神森小) / 人を最高に幸せにできると仕事だと思った。 / 観光業は、旅行会社やホテルだけだと思っていたけど、色々な仕事があることを知った。(兼城中) / 自分もやりたい職業だったので楽しみにしていました。お客様のために行っていることなどを知れてよかったです! (沢崎小)

実施回数	24回
講師数	11名
講師	相川浩一・上原尚彦・大城直樹・ソンチェウン・高嶺忠嗣・玉城扇・當銘康起・名城一幸・前西原隆二・又吉演・宮里公宣 (敬称略・50音順)
協力団体	沖縄県観光コンベンションビューロー / 沖縄県ホテル業組合 / 北中城村観光協会 / 恩納村観光協会

### アンケート集計

もともと観光産業のイメージは「とてもよい」「よい」を合わせた高評価が77.3%と比較的好印象でした。講話を行うことによって、「どちらでもない」が大きく減り「とてもよい」が大幅に増加。好印象は96.6%になりました。

また、身近な人がパイロットになる体験を聞いて、「勉強すれば夢がかなうとわかった」「パイロットになりたいと思った」など、学ぶ意欲にもよい影響がありました。





# 情報通信産業

## Information Communication Technology

業界団体 / システム開発 / フリーエンジニア / Web制作 / プログラム教育 / ソフトウェア・テスト

### 想像を超える未来を切り開け！ 田舎も離島も関係ない、世界を変える産業

まだまだ変わる業界は、大きな可能性に満ちている。

多くの講師が、世界を大きく変えたITの歴史と、これからの社会がどうなるのかについて語りました。情報通信産業はその変革の中心であり、仕事を通じて自分自身が世界を変えていけることを、多くの講師が語りました。また、ほとんどの仕事が、さまざまな職種、立場、異なる業種の人々との協業なので、パソコンだけでなくあらゆる教科の学びと、コミュニケーション能力が必要であることも、全ての講師に共通した内容でした。

「難しそう」という理由で敬遠されることの多い業界ではありますが、プログラム教育に携わる講師から、実際に小学生が作ったゲームを披露され、そのプログラム内容を紹介することで、「自分でもできそう」という感想を聞くことができました。また、かつて突然の難病を発



症し、現在半身不随の技術者の職業人講話では、大きな障害を背負っても、ITなら仕事を続けることができる、同様の困難を抱えた方々に伝えていきたいという抱負が語られ、情報通信産業が、働き方そのものの多様性も広げる可能性も示されました。

#### 業界解説



### 情報通信産業を知ろう！

#### 業界解説シート



#### いまのシゴト

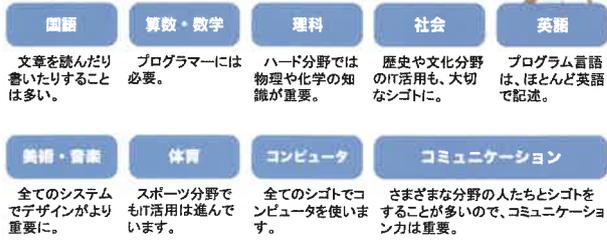
- 沖縄の主要産業のひとつ。
- コロナの影響が少。在宅・離島でもシゴトができる。
- 独立起業しやすい。
- 全てのシゴトに関係。土木、小売店、スポーツも。
- 本土の下請け体質から抜けきれていない。

#### 未来のシゴト

- いままだ無い機械やサービスが生まれている。
- すべての職場にIT担当がいるようになる。
- AIや大量のデータを扱うシゴトに大きなニーズ。
- プログラムも自動化し、作業がより簡単に。
- 人とコンピュータの橋渡しをするシゴトはより重要に

#### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。



情報通信産業は沖縄の主要産業のひとつ。まだまだ成長する分野です。大きく「ハード」「ソフト」「サービス」の3分野に別れます。「ハード」はパソコンやスマホを作る機器メーカー、インターネットをつなげる電話・携帯会社など。「ソフト」はプログラムを作るシステム開発会社など。

「サービス」は、検索や地図などのWebサービス、スマホアプリ、CG・ゲームを提供する会社や、企業のホームページを作るWeb制作などが含まれます。また、IT技術者は、IT業界以外のほとんど業界で活躍できます。

## 実施事例 01

世界初から 70 年で 2 兆倍の性能に、  
コンピュータはまだまだ世界を変える。柴崎 貴史 氏 財) 沖縄 IT イノベーション戦略センター (ISCO)  
浦添市立沢岬小学校

沖縄 IT イノベーション戦略センターは、沖縄県の外郭団体で、IT 産業の振興を主な目的としています。柴崎氏はその中で、「Resortech (リゾートテック)」というリゾート (観光) と IT を結びつける事業の仕事をしています。

コンピュータは、幅 30m、高さ 2.4m、奥行き 0.9m、総重量 27 トンという巨大なものから始まり、パソコン、スマホに至って、性能は 2 兆倍になり、電力が 3 万分の一になったことを説明。そのパワーが、わずか数十年で世界を大きく変えてきたと紹介しました。いまや、コンピュータなしでは社会が機能しない時代になりました。これからも、コンピュータはまだまだ世界を変えていきます。



そこで、AI や電気自動車や自動運転の普及によって、どんな良いことが起きるかを子どもたちと考えました。

これからは IT を学ぶことは必須になる、しっかり学んで素敵な未来をつくってくださいとメッセージを送りました。

## 実施事例 02

社会を変える側に立つ！  
IT だからこそコミュニケーションは重要。大城 周児 氏 ユーマーク株式会社 副社長 / ET ロボコン沖縄地区実行委員長  
糸満市兼城小、同兼城中、同光洋小、八重瀬町立東風平中、読谷村読谷中、浦添市沢岬小

大城氏はソフトウェア・テストというジャンルの会社の副社長。東京の大学卒業後、県内外の IT 企業に勤務の後に信頼できる仲間たちと県内で起業。IT が社会を大きく変えること、そこに自分の能力を活かせるチャンスがあることを一貫して感じてきました。今後、世界はまだまだ変わります。その変革を担うのが IT のエンジニアであることを語りました。

現在は、昔からの友人とともに、ソフトウェアの品質向上を目的とした検証業務などを行なうユーザー社を起業。ソフトウェアも、作って作りっぱなしでなく、第三者がテストして、品質を保証することが求められていることを説明しました。



また、「シゴトと勉強」として、小学校の各科目がどのように仕事に役立っていくのかを説明。「小中学校で学ぶことは社会で生き抜いていくために必要な知識。IT 業界も、コミュニケーション力も大切なので、授業もクラブ活動も全力で取り組んでほしい」と伝えました。

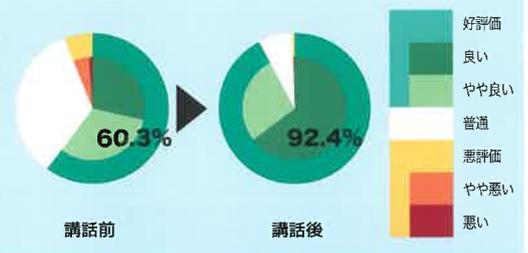
実施回数	23 回
講師数	7 名
講師	岩村琢・大城周児・大森洋介・久保田昌人・柴崎貴史・宮城雄作・山川朝教 (敬称略・50 音順)
協力団体	財) 沖縄 IT イノベーション戦略センター / 一社) 沖縄県情報産業協議会※

※ご協力いただきましたが、講師派遣には至りませんでした。

## アンケート集計

情報通信産業のイメージは、講話前の好評価が 60.3% から 92.4% に向上しました。また「普通」評価が 33.7% から 7.1% に大幅に減りました。知る機会があれば、興味のもてる産業であるといえます。

事前に「難しそう」と感じていたものが「簡単なことから始められる」ことが理解できた、縁遠いと思っていたが「意外に身近にある」などが理解できたようです。



## 子どもたちのこえ。

情報通信産業は大事な産業だとおもった。今後社会に欠かせない仕事だとおもった。 / いろいろなテクノロジーで生活が豊かになると聞いてイメージがすごく変わった。 / コロナで店が開かなくなって、それでホームページを作れて宣伝できていいなと思ったし面白そうだった。 / IT 業界に入ってみたいと思いました。(沢岬小) パソコンにずっと向き合っている仕事かと思っていたが、とても楽しそうだった。 / 品質のテストを行うことで、人の役に立つと知った。 / IT 業界は理系の人だけでなく文系の人もたくさん活躍していると知った。(兼城中) / 最初はプログラミングなど機械を動かしていると思ったが、その背景にはいろいろな人がたくさんいてできていると知ってとてもすごい仕事だと思った。(読谷中) / コンピューターを作ってみたくなった。 / 情報通信産業どんな人が向いているかと質問して、「一つのことにあきない人」と聞いてびっくりした。(兼城小) ずっと黙ってパソコンを動かしているイメージから、アイデアを出し合って作っていく楽しいイメージにかわった。(首里中) / 情報数新産業ずっとパソコンで人とかかわりはあまりないし、どこで IT が使われているかわからなかったけれど、いろいろなところで使われているし人とかかわりもあるしとても良い職業だと思いました (小緑南小) / 「夢のある未来をつくる仕事」というイメージを持った。 / IT のおかげで今の自分たちが生活できている。(神森小) / 天才の人だけが出来る仕事だと思っていたけど、IT スキルを持っていれば後は努力次第で誰でもできると難しいけど楽しい仕事だと知りました。(浦添小) / IT 企業は全然関係なさそうだと思っていたけど意外と身近にあることがわかった。(那覇中) / 授業の前は、IT は自分には無理だと思っていたけど、山川さんの話を聞いて、頑張ったら自分にもできそうと思った。 / IT 業界で働きたいと思った。(潮平中) / プログラミングは難しそうと思っていたけど、簡単なところから始めて、仕事にもできるということがわかった。(西崎中) /



# 建設産業

Construction

総合建設業 / コンクリート製造

## 「地図に残る仕事」の魅力、 技術革新が確実に進む業界。

子どものうちに、さまざまな体験をすることが未来の仕事につながる。

建設業界の職業人講話は本来、さまざまな体験メニューが子ども達の興味を掻き立てるものです。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座の実施が困難になり、全ての授業が職業人講話となりました。

そんな中、講話に VR 技術の活用のような新しい技術や話題を取り入れることは、現代の子どもたちに対応したものだといえます。

また、建設業界は今まさに変革の時期を迎えています。重機の高度化・ロボット化・巨大化、測量のドローンへの移行や、女性の進出、週休二日制の徹底など、より働きやすい環境の実現に向けて変わりつつあります。

建設業界の一番の魅力は「地図に残る仕事」といわれます。実際に多くの業界人が「あのビルの作業に関わった」「あの橋の鉄筋を提供

した」などの仕事について誇らしく語ります。本事業でも、自身が建設に携わった学校で「自分の会社がこの校舎を作った」と話した講師がいました（自分たちが日頃過ごしている場所だけでなく、子ども達も興味津々。「この校舎を造るのにいくらくらいかかるんですか」などの質問に、講師は少々困りながらも、誠実に回答していました。）。

これからも建設業界は、新たに生まれる道路、橋、トンネル、高速道路、モノレールの延長など、新しい景色を造り続け、それが新しい誇りとなっていきます。そのやりがいを伝えるために、職業人講話も、新しい技術や話題を取り入れつつあります。

### 業界解説

## 建設産業を知ろう!



建設産業は、家、道路、橋、学校、公園、空港などをつくるシゴト。必要な土木工事が行われ、資材現在、沖縄県内は建設業が盛んで、住宅やホテルが建設されています。

家主や市町村が造りたいものを仕上げに、内装・水道・電気工事。建設会社や住宅メーカーが受注。出来上がった家や建物を、不動産業者・設計士が設計し、測量・

調査、構造計算が行われます。また、工事現場では警備会社が交通整理を行うことがあります。また、完成した家や建物を、建設会社が販売することがあります。

### 業界解説シート

日立建機「双腕仕様機 ASTACO(アスタコ)」



#### いまのシゴト

- コロナでも建設業界は順調。高収入。
- 古い建設物の保守、リニューアルも進む。
- 県内でも巨大重機が活躍。
- 高度な数学、地域の文化理解が生きる現場。
- 女性作業員、外国人労働者が増加。

#### 未来のシゴト

- 街は変わり続けるので、未来も重要産業。
- IT化、ロボット化が進む。オペレータが重要に。
- 自動運転対応道路など、最新技術への対応も。
- 日本の技術で世界で活躍できる。
- 宇宙ステーション、宇宙基地の建設も?

#### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。

<b>国語</b> 建設物を作るには大量の文書を作成・読解します。	<b>算数・数学</b> 構造計算には、高度な数学が必要です。	<b>理科</b> 建設には、さまざまな科学知識が使われます。	<b>社会</b> 地域に合った建築物には文化の理解が重要です。	<b>英語</b> 現場には外国人が増えています。
<b>美術・音楽</b> 建築家には美術センスが必要です。	<b>体育</b> 建築現場では、体力と技術が必要です。	<b>コンピュータ</b> 設計や重機操作には、コンピュータが使われます。	<b>コミュニケーション</b> さまざまなスタッフが多数関わる現場で、コミュニケーションは重要です。	

## 実施事例

## VR で未完成物件の中を歩く。

徳元 猛 氏

光建設 代表取締役 / 沖縄県建設業協会  
糸満市立南星中学校、同米須小学校、同大渡分校、同光洋小学校

父親が会社を創業し、子どもの頃から父親の働く姿を見ていた徳元氏。幼少期から「いつか自分も建設の仕事に携わりたい」と感じていました。「何もないところから新しいものが作り出されること、自分のスキルを磨いていけること」がこの仕事の魅力ややりがいであると語り、自社が手がけた住宅や公共施設の写真を見せ、児童も少しイメージできた様子。

建設会社は、「地域の町医者」でもあります。古くなった道路や堤防を直すこと、災害時に地域を守ることも大事なお仕事。

また、建設業の働き方改革にも触れ、ITやロボットによる作業の効率化、女性の働き手の増加、週休二日制の普及など、業界全体として働きやすい職場作りを目指していることも伝えました。



最後はVRを使い、「クラスみんなでバーチャルの家を作ろう!」の体験。子どもたちは自分の理想の家について意見を出し合い、画面上にはみんなで作った家が完成。最新の技術も体験することができました。



実施回数	10回
講師数	3名
講師	阿波根昌樹・大城壮二・徳元猛（敬称略・50音順）
協力団体	（一社）沖縄県建設業協会 / （一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会※

※ご協力いただきましたが、講師派遣には至りませんでした。

## ■ アンケート集計

講話前には好印象が49.5%にとどまっていた建設産業は、講話後91.8%に、また、講話前「普通」だった印象が36.3%と非常に大きく、講話後7.3%に大きく減少しているのも特徴です。知る機会があれば、魅力が伝わる産業であるといえます。印象が「悪い」が0%になりました。現場で働く方の生き生きとした話を聞くことで、これまで何となく抱いていた印象が変わり、やりがいや楽しさ、建設産業の中にもさまざまな働き方があることを理解できたようです。



## 子どもたちのこえ。

建設の設計をやってみたくと思いました。 / 将来に向けて、これからいろいろなことに挑戦して行きたいです。建設では、自分が思う家をインターネットを使ってつくってみたいと思いました。 / 女性も増えてきているということが印象に残りました。(米須小・大渡分校) / 建築産業は最初はよくわからなかったけれど、VRで楽しく仕事をできることを知ったので楽しそうというイメージが変わりました。 / 建築産業は女性に向いていないと思っていたけれど、女性の社員もいると知りました。(光洋小)  
建設業はいいイメージはなかったけれど、自分の知っているのは一部だけで、芸術的、文化的なものもあるんだと知りイメージがとても良くなりました。(東風平中) / 建物を建てるだけだと思っていたけど奥が深くやりがいがあると思った。 / 力仕事と思っていたけれど、アイデアを出す仕事もあるんだと思った (小祿南小) / 建築産業の仕事にはとてもいろんな魅力がある。 / なんか木材じゃなくてコンクリートというところに興味を持った。 / 建設産業は楽しそう。今の日本の建築技術が分かった。(久部良中) / 建築は大変そうであり興味はなかったけど、話を聞いたらすごさがわかった。 / コンクリートがその地域に合わせた模様(首里織り)になってることがとても印象に残った(仲井真小)

ものすごく達成感のある仕事だと感じました。前はくっつけて完成!というプラモみたいな感じと聞いていました。 / 仕事が29種類にわかれていると聞いて驚いた!チームワークがないとできないんだなと思いました。(安謝小)



# 医療産業

Medical

看護師 / 薬剤師 / コミュニティ・ナース / 医療機器製造・販売

## 困難な状況の中、医療従事者の理想と厳しさを学ぶ。

業界の幅広い取り組みを紹介、未来に向けて医療も変わる

医療業界は、新型コロナウイルス感染症の影響がもっとも大きかった業界だといえます。

そんな中でも、複数の看護師の方に講師を引き受けていただきました。コロナ禍によって仕事が困難になっている状況の説明、実際に病院で使っている感染防護服を着てみた子ども達は、その不自由さに驚いていました。また、働きながら資格を取得した看護師は、中学卒業以降の資格取得の道筋を紹介しました。

薬剤師会では、主に講話先の学校を担当する学校薬剤師を派遣していただきました。一口に薬剤師といっても、大学や製薬会社での研究、学校薬剤師、スポーツファーマシストなど、さまざまな仕事があることを子ども達は学びました。

また、コミュニティ・ナースや新しい医療



機器製造・販売など、新しい取組を紹介した講師もいました。

世界や、これまで顧みられなかった人々への支援を、病院とも行政とも違う立場で進める人達がいることに驚いた子どもも少なくありませんでした。

### 業界解説



## 医療産業を知ろう!



医療産業は、病院・医院と、それに関わるシゴト。患者は、まず近所の医院に行き、必要があれば病院に行きます。人口の少ない地域医療のために、県や市町村も、病院を経営しています。病院・医院には、医師、看護師の他に、レントゲンを撮る放射線

技師、患者の相談にのるソーシャルワーカー、医療事務スタッフなどがあります。さまざまな医療機器・用品を企業から買います。薬局には薬剤師がいて、製薬会社などから薬を仕入れます。救命救急士は消防署に勤務し、119番で患者を病院に運びます。

### 業界解説シート

© Nimur  
医療用ロボット手術機、  
ダウインチ外科システムの  
患者側カート。



#### いまのシゴト

- コロナの対応によって、いよいよ重要な業界に。
- 給料はいいが、勤務は厳しい。
- ロボット手術、AI診療、遠隔診療の実用化が目前。

#### 未来のシゴト

- 少子高齢化社会で、医療はいよいよ重要に。
- 外国人観光客・医療スタッフも増加が。
- 日本の医療サービスが海外へ展開が。
- AIの浸透で、コミュニケーションがより重要に。

#### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。

国語	算数・数学	理科	社会	英語
多くの本を読んで学ぶ必要があります。	合理的な思考法が必要。	人の体については理科で学びます。	地域文化への理解がコミュニケーションを円滑に。	国内にいる外国人への医療がより重要に。
美術・音楽	体育	コンピュータ	コミュニケーション	
患者向けのチラシを、医療事務スタッフがつくる必要があります。	医療現場の多くは体力が必要なシゴトです。	ほとんどのシゴトでコンピュータを使います。	さまざまな患者の気持ちを理解することが、適切な治療につながります。	

## 実施事例 01

自身の兼城小時代の写真を披露、  
薬包紙の包み方体験に大盛り上がり。平良 恭子 氏 薬剤師 / 薬局えぱーわーな~代表 / 沖縄県薬剤師会  
糸満市立兼城小学校

兼城小学校の卒業生でもある平良氏。小学生の頃から理科が好きで、理科室で撮影した兼城小5年生当時の集合写真を披露しました。猛勉強の末、薬剤師の国家資格を取得。病院薬剤師、保険調剤薬局勤務を経て、現在は、学校近くで薬局を経営しています。

薬剤師には、病院や調剤薬局、ドラッグストア以外にも、大学や製薬会社での研究、学校薬剤師、スポーツファーマシストなど、さまざまな働き方・活躍分野があることを紹介。

「薬剤師の仕事は責任が重いので、めげそうになることも度々。それでも、大好きなこの仕事を通じて、在宅医療、沖縄の植物からの製薬の研究など、これからやりたいことも多く、私自



身まだまだ夢の途中です。」と話しました。

授業の最後には、紙で薬をこぼれないように包む折り方体験。意外に難しく、四苦八苦する子どもたちに、「薬剤師はみんな、これを大学で苦労するんですよ」と教えてくれました。

## 実施事例 02 リモート事例

社会が大きく変わるいま、医療も変わる。  
辛い体験を乗り越えて看護師へ。金城 有紀 氏 コミュニティナース  
浦添市立浦添小学校、糸満市立高嶺小学校、糸満市立兼城中学校ほか

出産と母の死が同時に訪れたとき、さまざまな不安が去来する中で相談する相手がいなかった、と語る金城氏。病院の中に相談できる人がいるべきだと考え、学校に入り直して自ら「コミュニティ・ナース」という仕事に就きました。

コミュニティ・ナースとは、病院に所属せず、役場や地域で活動する看護師のこと。地域の住民の健康指導などをしながら生活の相談にも乗っています。看護師といえば病院務めと考えがちですが、医療には新しいカタチが求められつつあります。予防医療、公衆衛生、地域医療、ポジティブヘルスなど、既存の医師や看護師だけではまかなえない分野がたくさんあります。コミュニティナー



スも、そのひとつです。

2007年の 아이폰の誕生、2011年東日本大震災、2020年の コロナ禍と、社会

が大きく変わる中で、仕事のあり方も変わります。その中で本当に必要な仕事を見つけ出し、直感を信じて行動すること、そのために自分を知ることが大切です。金城氏は、心も身体も健康に暮らせるまちづくりをしていく夢を語りました。

実施回数	18回
講師数	9名
講師	伊佐常隆・伊志嶺牧子・河村哲・金城有紀・平良恭子・玉城智大・照屋誠・備瀬知貴・吉田洋史(敬称略・50音順)
協力団体	(公社)沖縄県看護協会 / (一社)沖縄県薬剤師会

## ■アンケート集計

もともと医療産業はイメージがよく、講話前の好印象の73.4%が、講話後92.8%になりました。特にもっとも良い評価である「良い」が41.7%から、72.1%に大幅に改善しました。また、講話前の「普通」評価が21%と、比較的小さいのも特徴です。仕事の内容について一定の認知のある産業といえます。

コメントからは、講話を聞いてより具体的に仕事のイメージをもてたこと、夢と仕事を結び付けて考えるきっかけになったことなどが多くみられました。





# 福祉産業

Welfare

老人施設 / 障がい者施設 / 社会福祉協議会 / 児童クラブ

## 体験ができない中でもさまざまな工夫、明るく楽しい福祉を演出。

子どもたちが笑顔になる、福祉の話。

もともと福祉産業は、地元の学校との結び付きが強く、これまでも講話や出前講座に取り組んでいます。今年度はコロナ禍で、これまで行われていたさまざまな体験の実施が困難でしたが、その代わりに各講師はさまざまな工夫を凝らし、これまでにない職業人講話を実現していました。

高齢者デイサービスを営む講師は、スマートフォンで自施設とビデオ通話をつなげ、子どもたちが利用者のお年寄りにインタビューするなどの取組を行いました。リアルタイムで見る施設の中で、利用者達が生き生きと楽しそうにしているのを見て、高齢者福祉の印象が大きく変わりました。

福祉産業は幅広く、高齢者、障がい者以外にも、保育や学童、人びとが安心して暮らすため



老人施設の老人にビデオ通話で質問をする子どもたち



モニタ越しに子どもたちに課題を与え、マイクで発表

の街づくりなどを行う地域福祉など、幅広い講師陣の講話によって、これまで想像もしていなかったさまざまな人がいて、それを支える仕事があることを、子ども達は学びました。

### 業界解説



## 福祉産業を知ろう!

### 業界解説シート



#### いまのシゴト

- 高齢化社会の中で福祉の重要性が高まる。
- 待機児童や児童の貧困など、児童福祉も重要に。
- 障がい者の社会参加が進む。
- IT活用は遅れている。
- 厳しい労働環境の改善が求められている。

#### 未来のシゴト

- ロボット技術やITの普及で大きく変わる可能性。
- コミュニケーション力がより重要に。
- 障がい者がより身近にいる社会に。
- 外国人居住者の福祉も、より必要に。

#### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろな関係しています。

<b>国語</b> 福祉制度の文書を理解する必要があります。	<b>算数・数学</b> 支援者の生活のお金の相談にのることも。	<b>理科</b> 医療的な知識も必要です。	<b>社会</b> 地域の文化知識が高齢者との会話に役立つことも。	<b>英語</b> 今後、外国人への福祉の必要性も高まります。
<b>美術・音楽</b> 美術や音楽は児童福祉に用いられます。	<b>体育</b> 介護やリハビリで体力が必要です。	<b>コンピュータ</b> ITとロボット活用で業界の革新が必要。	<b>コミュニケーション</b> 高齢者やさまざまな価値観の人とコミュニケーションを取る必要があります。	

福祉産業は、「障がい者福祉」「高齢者福祉」「児童福祉」とその他に分けられます。「障がい者福祉」「高齢者福祉」では介護、リハビリ、就労支援など。近年では障がい者スポーツ指導員の取組みもあります。「児童福祉」は保育・学童、児童養護施設、障がい児福祉、特別支援学校などが行われています。車椅子・義足・補聴器など福祉機器・器具の制作・販売も福祉です。自立支援施設ではニートや元受刑者の社会復帰を目指します。これらの取組を、市町村と社会福祉協議会が行っています。

## 実施事例

仕事とスポーツは似ている、  
楽しむ、必要とされる、チームワーク

親泊 靖 氏

(社福) 那覇市社会福祉協議会  
那覇市立安謝小学校

親泊氏は小さな頃、ショベルカーの運転手になりたいと思っていました。小中高から卓球をはじめ、いまでも愛好家、各世代毎に大会で優勝してきている超ベテランのスポーツマンです。親泊氏は、仕事に大切なことは、スポーツに似ていると考えています。

福祉の仕事に就いたのは、人の役に立つ仕事でしたから。

2階からおばあちゃんをおんぶして車に載せるリフト付き福祉バスの仕事、看護師と3人で浴槽をベッドのすぐ近くに設置する在宅の老人宅向けの訪問入浴サービス、日常生活の介助をするホームヘルパーなど、在宅老人向けのサービスについて、様々な仕事を写真付きでわかりやすく解説しました。体力的には大変そうな仕事ですが、「人の役に立つ」という思いと、軽妙



な語り口から、子どもたちの笑い声の絶えない授業となりました。

さらに実際の利用料金や仕組み、どんな資格があるかなど具体的な話も交え、

子どもたちにもリアリティをもって伝えられました。

体力的には大変なこともあるけど、大事なのは楽しんで取り組むこと、必要とされる人材になれること、チームワークが大事なことです。

これら、仕事の大事なポイントが、全てスポーツや学校の勉強にも共通するものであることを伝えました。



## 子どもたちのこえ。

福祉の仕事をやってみたくて思いました。なぜなら福祉産業の仕事は人を助ける仕事だからです。福祉の仕事はいろいろ大変だと思ったけど、やりがいや魅力が聞けて良かったです / いろんな資格を取得して必要とされる人材になる。人のために働き、自分が好きな職業に就きたい(安謝小)

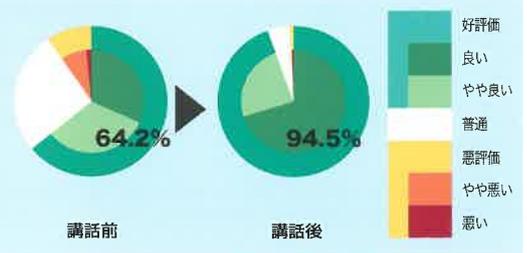
人の言うことを全部きかないといけない、大変な仕事だけ給料が少ないと思っていたが高齢者のゆめをかなえる仕事、やりがいがある仕事にイメージがかわった。(首里中) / 最初は障害者の方に1日中つきっきりの仕事だと思っていたけど、玉城さんの話を聞いて、人のために何かをすることは素晴らしいことで、良い印象が変わった。(潮平中) / 福祉産業は暮らすために必要な産業だということがわかった / この福祉の仕事には子供が好き、観察するのが好き、人と遊びが好きな人が向いている言っていたので自分は2個くらい当てはまるので少し自信がついた(浦添小) / 頑張っているママ達のために応援し、オンラインも使って相談に乗っているということはすごいと思えました。(松島中) / 最初はただお世話するだけだと思っていたけど、相手のことを考え当たり前の生活を送りにくい人たちにふだんの暮らしを幸せにしていける仕事なので良かったです。(西崎中) / 最初はどんな仕事かあまりわからなかったけれど、話を聞いてどんな人でもどこかで関わっている仕事だし、今後日本にとってはとても大切な仕事なんだと思った。(読谷中) / 笑っている高齢者の方を見て「人を幸せにする」、仕事なんだということが分かった。喜んでもらえることにとてもやりがいがありそう。(東風平中)

実施回数	▼2回
講師数	7名
講師	親泊靖・川平晃爾・玉城達也・萩原雄三・宮城達也・松永亜紀子・本永万希子(敬称略・50音順)
協力団体	(社福)那覇市福祉協議会 / (社福)糸満市福祉協議会

## ■ アンケート集計

福祉産業は、実際に講話を聞くことで、「普通」評価と「やや悪い」が激減し、講話前の「良い」評価31.9%が、講話後70.3%に倍増、「良い」と「やや良い」を合わせた好評価全体で、94.5%になりました。

コメントからは、講話前には「忙しそう」「大変そう」だった評価が、やりがいや楽しさが学べたことが伺えます。





# 文化産業

Culture

ガラス工芸 / 染織 / 相踊 / 現代演劇 / 写真 / 映画館 / 映画 / 映像 / 博物館・美術館 /

## 伝統から最先端まで、 新旧さまざまな文化の講話を実現。

夢を実現する苦勞を、楽しめるひとが、夢を実現する。

文化産業は非常に広範です。音楽、舞踊、伝統芸能、絵画、工芸、伝統工芸、演劇、映画・映像、写真、マンガ・アニメ、お笑い、各種サブカル、パフォーマンス、Youtuber など。

作品を持参した講師が多く、色とりどりの工芸品や自身が制作した写真や映像作品などを披露しました。また、舞台関係の講師は、立ち居振る舞いや所作、挨拶など、実際に子どもたちに体験させる授業も多数ありました。テレビ・舞台上で見たことがある人、番組・映画を作っている人など、子ども達の憧れに手が届く講師もいました。

実際、子どもの頃の憧れを実現している講師も多く、実現するために体験した紆余曲折を語りました。自身の仕事をお金にするための苦勞を乗り越えて、夢を実現しています。その苦勞



をいかに楽しむか、その気持ちが夢の実現に必要である、というのが多くの講師の共通した意見でした。

### 業界解説



文化産業は幅広い業界です。**音楽・ダンス、演劇**は、現代から**伝統芸能**までさまざまなジャンルがあります。**劇場・ライブハウス**で演じられます。関わるスタッフの多くは、**映像・映画、芸人・お笑い**にも携わっています。撮影・照明・音響・楽器など**楽器・機材**に

関わるシゴトもあります。**絵画・写真・デザイン、工芸**は、**美術館・博物館**に作品を展示。**小説・詩、漫画・イラスト、歴史研究**は**図書館・公文書館**と関係し、**書籍**を出版することがあります。**県・市町村**と**各種団体**は、各団体の文化活動を支援します。

### 業界解説シート

#### いまのシゴト

- コロナの影響がもっとも大きい業界の一つ。
- 放送・劇場・出版・観光のどれも経営が厳しい。
- Youtubeなどネット配信に期待。
- 新技術、新表現が次々出現。
- 音楽や映像は低コストで制作できるように。

#### 未来のシゴト

- 文化・エンタメ業界は、カタチは変わっても伸びる。
- ネットで世界中に発信。でも、ライバルも世界中に。
- 新しい仕組みを支える、新しい裏方が必要か。

#### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。

国語	算数・数学	理科	社会	英語
文章の読み書きは非常に多い分野です。	多くのスタッフや機材を使う費用の計算をします。	自然は文化に深く影響を与えています。	歴史や地域の知識が、直接文化に結びつきます。	翻訳する機会がしばしばあります。
美術・音楽	体育	コンピュータ	コミュニケーション	
さまざまな作品を学ぶことが、シゴトに結びつきます。	演劇や音楽では、体力や運動神経が求められます。	ほとんどのシゴトでコンピュータを使います。	さまざまな役割を担う、多くの仲間とシゴトをすることの多い分野です。	

## 実施事例 01

環境に優しく、美しい工芸、  
沖縄を代表する工芸として無限の可能性。

## 壺内 文太 氏

ガラス工房プンタロウ  
那覇市立さつき小学校、浦添市市立沢岬小学校

まず、自らのInstagramに掲載している美しいガラス作品を紹介。壺内氏は、北中城にあるショップ兼作業場で、オリジナル作品を制作しています。

本日は工房で体験してほしいけど、難しいので工程を動画で紹介。小さな炉でも制作できると説明します。ガラスは柔軟で、工夫次第で無限にいろいろなカタチにもできます。

大学生のとき、偶然近くでやっていた工芸体験でガラスと出会い、何度でもリサイクルできることに感動し作家の道へ。海外協力隊の技術指導でパラオに行ったとき、貧しく、資源が限られた場所でも、ガラスは何度でも再生できることを再認識しました。



最後に、琉球ガラスの歴史について解説。歴史は浅いものの、戦後の貧しい沖縄でも工芸の一分野として認められるまでに成長しました。

環境に優しく美しい、ビジネスとしても有望、ガラスには無限の可能性があると子どもたちに伝えました。

## 実施事例 02

大きな声で正しく挨拶、  
子どもたちが元気なる講話。

## 田原 雅之 氏

俳優・演出家 / シアターテンカンパニー代表  
那覇市立首里中、松城中、神原小、国頭村立安田小、糸満市西崎中ほか

田原氏の講話は、大きな声で挨拶することから始まります。声小さければやり直し、目を見てなければやり直し、全員が挨拶できるまで何度もやり直します。軽妙さと厳しさを両立させながら続けていくと、やがて子どもたちはしっかり大声で挨拶ができるようになります。

田原氏は、現代演劇の演出家であり、琉神マブヤーの悪役・マジムンキング役からさまざまな演劇、テレビ、映画に出演する俳優でもあります。仕事の度に知らない人たちと本気で仕事をする現場、礼儀とコミュニケーションの大切さを説明しました。



再度、体を使った演習に入ります。座るときに大きな音を立てない、背筋を伸ばして立つ、本気で笑う、大声で叫ぶ。

恥ずかしがりながらも子どもたちは、少しずつ笑顔に、やがて生き生きとした表情に変わります。「これが田原マジックです」田原氏の講話では、必ず子どもたちが元気になります。

## 子どもたちのこえ。

はじめは大変そうだな。こんなに丁寧できれいなものを作るなんて凄いなと思ってた。ガラスをふくらます時、吸ってしまったらガラスが飛んでしまう可能性があるなど大変危険なこともあるけど頑張って作ってほしい。話をきいていい印象になりました。(さつき小)

文化などの職業は才能がないとできないと思っていたけれど、自分で「やりたい！」と本気でがんばれば夢をかなえることが出来る。(首里中) / 演劇で大切にしている事は言葉を相手にちゃんと伝えることと知った。自分の言葉を相手に伝えるときちゃんと相手がわかるようにしていると聞いて凄いなと思った。 / 演劇は言葉のキャッチボールだから日頃の挨拶やコミュニケーションを大切にしなければならぬことがわかった。(松城中) / 演劇などは売れなければずっと生活が苦しくて成功するのは一部だけだと思っていたけれど、楽しそうだなあと思ったしやりがいがあるなと思いました。(神原小)

私は自分が一番好きなことや興味があることを仕事にして働くことに挑戦したいと思いました。 / 最初は写真が好きじゃなかったけど授業を受けて好きになりました。 / 今やっている琉舞を伝統を受け継げるように頑張っていきたいと思いました(仲井真小) / 映画監督はすごく難しいことだと思っていたけど、話を聞いているとそんなことはなくすごく楽しそうだった。(潮平中) / いろんな人と協力し合ってプロデュースしていると知って凄いなと思った。 / 企画、キャスト、制作マネジメント等たくさんのお仕事がある事。(松島中) / 紅型の魅力がわかりとてもきれいで自分もほしい気持ちになった。 / はじめはすごいなあくらいのイメージだったけれど、授業を受けて違う意味ですごいと思った。自分の役に合わせて食を変えたりして自分の生活にも影響するくらい自分の仕事にほりをもっているんだということがすごい。 / 「自分の強みを生かして将来につなげる」という言葉が印象に残った(さつき小) / 組踊を小さい時からやっていた、大人になってもやり続けているのは凄いなと思いました / 組踊のしゃべり方をもっと教えてほしいです。(港川小)

実施回数	18回
講師数	14名
講師	賀川理英・狩俣倫太郎・喜納彩華・桑村ヒロシ・砂川幸太・平良竜次・田原雅之・壺内文太・渡久地マサキ・中川陽介・西平 博人・新田雅一・宮島真一・吉田真和 (敬称略・50音順)

## アンケート集計

文化産業は、好印象61.1%が90.6%に大幅に改善しました。特に「良い」評価が28.8%から、62.5%に向上しています。

全体的には「本気でがんばれば夢をかなえることが出来る」など、自身の「夢」と仕事の関係について触れたコメントが多くみられました。





# 物流・流通産業

Logistics

総合物流 / 航空輸送 / 宅配

## 経済を支える血液としての物流から商品を生み出し販売まで手掛ける物流まで。

沖縄の商品を世界に届ける仕掛け人も、物流・流通産業。

物流・流通産業にとっても、令和2年度は厳しい年となったようです。そんな状況下で、実施された職業人講話は、中身の濃い充実したものになりました。

航空物流の現場の話、空港での実際の業務から、飛行機の誘導に使う仕事道具の紹介まで、宅配企業の講話では、授業途中、同僚ドライバーがお届けものに到着、というサプライズ演出もありました。

また、沖縄の商品を世界へ届ける仕事をしている講師は、業界の仕組みや全体像を解説しました。

おもちゃがどこからやってきてお店に届くのか、スマホの部品の調達から、組立て、出荷、各店舗までどのように届くのかなど。

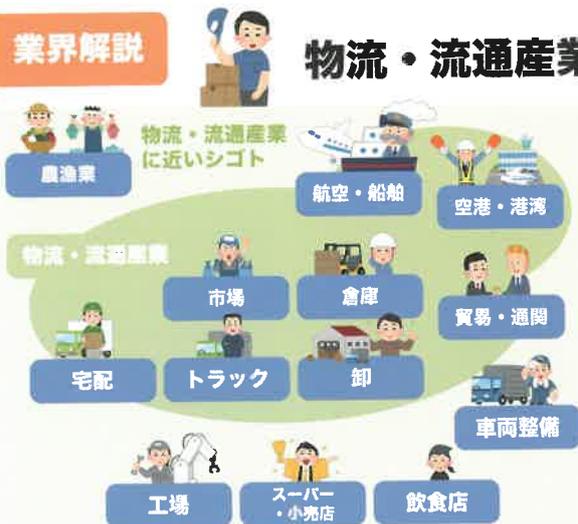
また、シークワサーの海外輸出の難しさや、



やりがいなど、貿易業務の醍醐味を語りました。

物流・流通産業が、商品の企画・製造から販売まで、幅広く関わる仕事であり、沖縄の経済振興に深く関わっていることを学べた講話になりました。

### 業界解説



## 物流・流通産業を知ろう!

### 業界解説シート

#### いまのシゴト

- すべての家庭とシゴトにつながるシゴト。
- 世界が大きく変化してもなくなるらない。
- 倉庫には多くの最先端技術が使われている。
- さまざまな重機を扱うシゴトも多い。
- 通関ではさまざまな国の商品を扱う。

#### 未来のシゴト

- 倉庫内ロボット、自動運転、ドローンが活躍。
- より広く世界中の商品を扱うようになる。
- 世界的な人材不足に。
- 女性の活躍がこれから始まる。

#### シゴトと勉強

学校の勉強とシゴトはいろいろ関係しています。

国語	算数・数学	理科	社会	英語
法律関係の文書などを読むことが多い。	多数のモノを効率よく運ぶ計算など。	天気図を読むシゴトもあり。	道路から世界まで、地図を見るシゴトは多い。	海外資料を読んだり、外国人と話すことも多い。
体育	コンピュータ	コミュニケーション		
重機の操作には、長時間、特殊な環境の作業も多く、体力が必要。	よりコンピュータ活用が重要に。	外国の船員、貿易会社など外国人とのシゴトも多い。		

物流・流通産業は、飛行機や船・トラックで、モノを運ぶシゴト。農漁業の野菜や魚を、市場から卸(おろし)を通じてスーパー・小売店や飲食店に運びます。

また、県外の工場で作られた食品は、一度倉庫に運ばれ、卸を通じてお店に並びます。

海外商品の輸入には、貿易会社の通関(つうかん)という手続きを経て、国内に運ばれます。

直接、家にモノを運ぶことは宅配といえます。

住宅や道路を作る資材、石油などの燃料、県外で作られた部品を工場に運ぶシゴトもあります。

## 実施事例

# 何でも運ぶ物流企業、 多くの人の手を経て、商品は手元に届く。

知花 英剛 氏 琉球通運 管理本部  
那覇市立首里中学校、八重瀬町立東風平中学校

知花氏は、欲しいものをアマゾンで注文してからの物の流れの解説から始まりました。注文が入った後、どのような流れで倉庫から飛行機にのり、家まで届くのか、そして、ホテルや大手外食チェーン、学校給食などのBtoB、イルカを運んだ経験など、物流のさまざまな事例を自身の仕事経験から解説しました。

誰もが利用する生活に密着した仕事であり、物流がストップすると、必要な物が手に入らなくなります。この産業がないと沖縄だけでなく世界が成り立ちません。仕事の現場にいるとモノの流れと経済の流れが見えてくること、重要な仕事をしていることを実感できることを語りました。

物流は国内だけではなくありません。海外からの商品を受け入れたり、沖縄のモノを海外に届け

たり。その間には外国の企業とのやりとりも頻繁に行われます。日々たくさんのが、多くの国から沖縄に届き、沖縄の食品やお菓子などが、多くの国に運ばれていきます。多くの外国人、言葉や文化や、物流のルールの異なる国々とのやり取りの中では、もちろん外国語が使われます。

また、仕事の現場では、多くのスタッフと連携します。日々大量の荷物が、発注元、飛行機・船・トラックの手配、経由する地点の倉庫、海外であれば通関も経由して運ばれていきます。これらひとつひとつの仕事をさまざまな立場のスタッフが支えています。

そのメンバーがチームとなって、仕事を進めていくことも、知花氏のやりがいであることを伝えました。

## 子どもたちのこえ。

物流は自分たちの身近にあって、とても大切な仕事だとおもった。(首里中) / 流通で消費者までの道のりは遅いことがわかった。将来に向けてそれを少なくできるように挑戦したいと思った。 / 最初は誰でもいいと思ってたけど、話を聞くと面白くてだんだん流通のイメージが変わった / 一回の注文が3万個(ロットで発注する例えの話)が印象に残りました。(仲井真小) / 物流は自分たちの身近にあって、とても大切な仕事だとおもった。(東風平中) / 物流の仕事は今まで気にもしていませんでしたが、今は自分たちの暮らしを支える大切な存在という感じがします。(松島中) / 物流産業はただ荷物を運ぶだけかと思ってたけれど経済を支える大切な産業 / 接客だけでなくグランドスタッフなどの影の仕事が輝いていると思った / たくさんの人が関わっている。そのために私にいろいろのものが届いている。 / 飛行機を1便飛ばすのにたくさんの人たちが関わっていて、一人一人が自分の仕事をきっちりやらないと1便が飛ばないこと。 / 私は仕事というものに固いイメージを持っていたけれど、小さなことから自分の思いもよらないことをやりたいと思うことがあると知って、挑戦できるものはやって選択の幅を広げたいと思った(南星中)



実施回数	6回
講師数	4名
講師	加藤政貴・神谷亮・岸川 浩平・知花英剛 (敬称略・50音順)

### ■アンケート集計

講話前の好印象が50.8%と比較的低かった物流・流通産業は、講話後93.4%に改善、特に「良い」が25.4%から、67.1%に大幅に向上しました。また印象の「普通」評価が、43.6%が4.8%と、38.7%も減少しました。

普段、身近に感じられない業界の方の話聞くことで、ただモノを運ぶだけでなく、商品の企画や販売に関わることや、国内外の多くの人々とのコミュニケーションがあることが理解でき、やりがいや重要性、面白さを感じられたようです。





## 令和 2 年度未来の産業人材育成事業

沖縄県商工労働部 雇用政策課 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2 098-866-2324

【令和 2 年度事業委託先】

株式会社ワンスペース / 一般社団法人 沖縄キャリア教育支援企業ネットワーク / 一般社団法人 沖縄県キャリア支援・教育連携協議会